

出席：山中・石川・小西・三角・松村・高橋・神野・池田・堀之内（藤村（全国理事））

1．2005 年度の理事会・総会・年会について

場所は大阪府立女性総合センターで、理事会は 11:00 から、総会は 13:00 から、年会は 14:00 から開始することで確認した。理事会・総会・年会に向けてのスケジュールと詳細を詰めた。

年会での発表件数は 13 題で例年より多いため、各発表時間は少ない。申し込み件数が多い事自体は、良いことであるとのコメントがあった。

2．支部ニュースの掲載事項の検討

理事会を経て総会での承認を仰ぐことになる、関西支部 2004 年度事業報告・2004 年度決算報告・2005 年度事業案・2005 年度予算案を検討した。

予算案では、2005 年度秋季大会費用が 255 万円で収入支出とも突出する。5 年前の 2000 年度秋季大会費用に比べては額が小さくなっているが、これは寄付金の形での寄付は積極的には行わず、申し込みがある団体からの賛助金としてしか募らないためである。2005 年度の秋季大会収支としては均衡する予定である。

経費削減を目的とした支部ニュース告知メーリングは、総会後から運用を始める。多少経費がかさむが、これは当初から見込まれたことである。2006 年度からの原則郵送廃止をもくろむ。

2005 年度の調査研究奨励金とグループ助成金への申請は、無かった。来年度も再度募集とする。また、12 月 20 日の第 26 期第 2 回常任理事会で検討した調査研究奨励金の規定と内規を確認した。規定は 6 月 11 日の理事会で承認予定である。奨励金基金は、今後一般会計からの補てんは原則行わず、取り崩していく方向である。

今年度の各地区例会は、中国地区では広島市で、四国地区は 12 月に高松市香川大学で、近畿地区が 2006 年 2 月に海洋気象学会と共催ということでそれぞれ予定されている。

第 27 期夏季大学は、各講師の選定がなされ、準備は順調に進んでいる。受講料・募集方法・受講料・受講料納付方法など検討された。細部については、夏季大学実行委員会に任せるとして、実行委員長を石川理事に決定した。

総会前にして、支部ニュース 249 号を 5 月中に送付することを確認した。総会出席の委任状のフォーマットについて、経費削減を目的とした支部ニュース告知メーリングリスト作成のためのメールアドレス記入欄等を検討した。

3．2005 年度秋季大会第 2 回実行委員会

2005 年度秋季大会第 2 回実行委員会の大会次第とその資料を検討した。